



# マンボウ通信 50号

ホームページ <http://www.geocities.jp/manbow7jp/donky2003/>

発行：NPO法人マンボウの会

Eメール [manbow1388@yahoo.co.jp](mailto:manbow1388@yahoo.co.jp)

就労継続支援B型事業所 ドンキーワールド 0957-22-9569

軽食喫茶タック(出張所) 0957-23-2461

アンテナショップ・タック(出張所) 0957-47-5605

木古里(従たる作業所) 095-838-8738

〒854-0011 長崎県諫早市八天町6-17  
電話・FAX (0957) 22-9569



2015.9.27 有田ポーセリンパーク

## ドンキーワールド設立20周年記念号 目次

賀正 2016 心をつなごう ..... 1	佐世保一泊研修旅行 平古場 晃 ..... 8
感謝祭を迎えて ..... 2	みんなのひとこと ..... 8~9
ドンキーワールドを代表して 庄子 裕子	佐世保一泊研修旅行写真 ..... 9
特定非営利活動法人 マンボウの会の歩み ..... 2	ドンキーワールドの思い出 ..... 10
商店街とともに地域発展を願う ..... 3	出発は小さなパン屋さん
諫早市栄町商店街協同組合 理事長 平野 吉隆	なかまを育てたマンボウ通信
フラワーアレンジの写真 ..... 3	新しい仲間(木古里) ..... 10
感謝祭 山根 順子 ..... 4~5	ロンロンとマコの年始あいさつ ..... 10
感謝祭の写真 ..... 4~5	就労グループの年賀状 ..... 11
20周年の絵・戻ってきた記念樹 ..... 6	木古里作業所からの年賀状・募集 ..... 12
これからの歩み 5カ年計画 ..... 7	2016ギャラリー開催予定 ..... 12
	編集後記 ..... 12

# ドンキーワールド 20周年

## 感謝祭を迎えて

「いまから20年前の11月15日に“障がいがあっても街で普通にはたらこう!”と、種をまいたのは、光野有次さん(現在、東京在住)を中心に本多医院夫妻や、現在もドンキーワールドで働き続けている大賀誠さんたちでした。

そして、ここまでドンキーワールドをはぐくみ、色とりどりの花を咲かせてくださったのは諫早中央商店街アエルの皆さま方です。特に6年前からは、アエル栄町アーケードのご支援により、障がい者とともに働くレストランを開設することができ、“地域の中で普通に生きる”という私たちの理念はさらに前進しました。

この20年間、任されたそれぞれの仕事を前向きに取り組んできたドンキーワールドのなかまたち、そして、彼らへ就労支援をしながらドンキーワールドをもちたててくださった職員の皆さま、さらに、何よりも私たちの未熟な活動を温かいまなざしで見守り励ましてくださった商店街の皆さまと共に、ドンキーワールド設立20周年記念感謝祭をお祝いしたいと思います。

しょうじ ひろこ  
ドンキーワールドを代表して 施設長 庄子 裕子



### 特定非営利活動法人 マンボウの会の歩み

平成 6年 11月

ドンキーワールド設立  
(竹の下アエルアーケード)



開設当初のドンキーワールド

7年 4月  
15年 12月  
18年 9月  
19年 4月  
20年 4月

小規模通所作業所  
ホームページ開設  
「特定非営利活動法人マンボウの会」承認  
地域活動支援センターに移行  
多機能事業所に移行

①就労継続支援B型(定員14名)

②就労移行支援(定員6名)

21年 9月

就労移行支援事業所の移転  
回転焼き&軽食喫茶タック  
(栄町アエルアーケード)



2006年冬

22年 10月

就労継続支援B型(定員20名)に統合  
(※就労移行支援事業を就労継続支援B型事業に合併)

24年 4月

木古里作業所新設(従たる作業所)

25年 4月

アンテナショップ・タックの新設(出張所の拡張)  
(アンテナショップ内にギャラリーを設置)

27年 11月

ドンキーワールド設立20周年記念感謝祭

# 感謝祭

## 商店街とともに地域発展を願う

諫早市栄町商店街協同組合 理事長 ひらの 平野 よしたか 吉隆



私ども栄町商店街協同組合は、アーケード街の中心あたりに栄町ビルの管理運営を行っております。その中にNPO法人マンボウの会様が入居をしたいとお申し出いただき、会員一同、大へんうれしく大賛成で理事会でも決定させていただきました。

と申しますのも、私ども商店街も福祉にしまして何か商店街としてご協力出来ないものかとよく話し合っておりまして。小さな事ですが、何か災害があった時には募金活動等を行い、就学児童への内外問わず協力を行ってまいりました。その様な折、軽食喫茶タック様（ドンキーワールド様）を町中に店舗を開店していただき、共に地域の発展と、就労者のみな様の笑顔を見れるのが大へん商店街としても、うれしく思っております。

特に軽食を出しておられるタック様は、自分達の仕事場として又、その就労の方々のお食事

処として開店されましたが、地域の方々にも昼食処として、開放していただき、低料金の上、大へんおいしいと大評判で昼食時は満席になるほどです。これもまた、商店街といたしましては、こういう折に来街者の方が増すという事は大へんうれしい事です。又、パンの販売、食事での接客、みな様のすてきな画材を使った作品の販売、歩道上での催し物、その様な中、発行されておられるマンボウ通信を見させていただきますと『接客と作品づくりをがんばりたい』、『お客様に心をこめて』、『パンの売上アップをしたい！』等々、私ども商店街が忘れてはならない物事が列記されてありました。心にしみる思いであります。

今後とも、みな様と商店街が協力し合い、地域の発展に、いづらかでも寄与できる様に思っております。今後ともよろしく願い申し上げます。



多くのお客様でにぎわったフラワーアレンジ教室 ☆2日間で180名以上の参加がありました☆

# ドンキワールド 20周年

# 感謝祭

## ドンキワールド設立20周年記念

- 日時 11月13日(金)▶14日(土)  
11:00~14:00
- ところ 栄町アーケード  
(軽食・回転焼き タック前)

### 感謝祭行事

- ふれあいショップ (8店舗販売)  
障害者の施設が、日頃の作業で製作した商品や農作物を販売します。
- フラワーアレンジ教室 (毎日先着80名)  
費用は無料です。材料(花)や花器・ハサミはご用意いたします。  
(自分でアレンジした花は、お持ち帰りできます)
- 商品の製作実演  
アンテナショップ タックで展示販売している障害者14施設が、多くの皆様によりご理解し、ご支援を頂きたく、日頃作業している商品の製作の様子を施設ごとに実演します。

感謝祭開催期間中、二日間とも雨になってしまいましたが、アーケードに屋根があるおかげで多くの皆さまにお越しいただくことができました。ほんとうにありがとうございました。

感謝祭ではこんなにたくさんの素敵な笑顔が色とりどりの花になり、とてもキラキラと輝いていました。

いつもは月に一度タック前で開催されている「ふれあいショップ」を、期間中に二日間していただきました。

フラワーアレンジ教室(写真：前ページ)は大盛況でした。

アンテナショップタックに展示販売している事業所の方たちに、タック前で製作実演をしていただきました。



# 感謝祭

写真を撮っていると、こんな声があちらこちらから聞こえてきました。

「こんな素敵にお花をいけてうれしい！」

「こんなふうに作品を作っているのね。」

「上手ですね。」 などなど…。

多くの皆様にいろいろなことを見て知っていただき、たくさんの励ましをもらいました。

無事に「感謝祭」を終了することができたのは、地域や事業所、多くの皆様のおかげだと心から感謝しています。本当にありがとうございました。

やまね じゅんこ  
山根 順子



月に一度タック前で開催されている「ふれあいショップ」

## \* 製作実演をしてくださった作業所 \*



## 20周年の絵

この絵(⇒)は、「20周年記念の絵を描いてきました。」と、感謝祭が終わった11月16日の朝に、泉 桃子さんがドンキーワールドに持ってきました。桃子さんは、今から10年前に虹の原の特別支援高等学校を卒業してすぐにドンキーワールドに通い始め、大賀さんとロンロンに次いで、ドンキーワールドでは3番目に長く利用しているメンバーです。

泉桃子さんは、現在、タックの前でパン販売をしたり、タックのコップ洗いなどをしています。桃子さんがドンキーワールドに通い始めた頃は、絵が好きでよく描いていたのですが、ここ数年はほとんど描いていませんでした。今回、みんなが全体会議などで20周年記念行事のことなどを話し合っているのを聞いて、「20周年感謝

の絵]を描こうと思ったそうです。

仕事を終えて自宅に帰ってから夢中になって色を塗っている桃子さんの姿を思い浮かべながら、この10年間で仲間たちが仕事を通じて成長した姿に、卒業してドンキーワールドの来た頃の姿を重ねて、感慨深い思いに浸っています。



▲ カラフルなハーモニーが聞こえてきそうな赤いチューリップの花とかべの模様の絵

## 戻ってきた記念樹

「20周年の記念樹にしてください。」といって、北方(佐賀県)の多郎浦和子さんから、鉢植えのビワの木(↓写真)が届きました。実はこのビワの種は、昨年夏に、私たちが多郎浦和子さんに贈ったビワでその種を植えたものだそうです。この苗は多郎浦和子さんが生活しているベットの枕もとで育てられたものです。多郎浦和



子さんは、アンテナショップ・タックでも2年ほど前に絵画展を開催したことがあります。体が不自由なので、筆を口にくわえて絵を描いています。「あー、あの車いすの方か]

と思い起こす人もいるでしょう。

彼女は、現在50歳を超えていますが、30年以上前に、肢体不自由児の入所施設から、自分の生き方をしたいと佐賀の田舎の自宅に帰ってきて、重度の障がい者が地域で生きるモデルを自ら作り上げた方です。何の支援システムもない田舎で出てきた当初は、どんなに苦労したかを知っている者として、施設を出るきっかけをつくった者として、この記念樹は「地域福祉の希望の木」として大事に育てます。 庄子 裕子



筆を口にくわえて描いた「花の精」

# これからの歩み 5ヵ年計画

## 2015年(平成27年)

初年度の2015年(平成27年度)のメイン事業は2つで、ひとつ目は、「ドンキーワールド設立20周年の感謝祭」で、残りの一つは、来年の4月に新設する「木古里作業所の増築工事」です。

20周年感謝祭は、このマンボウ通信50号からもわかるように、地域の市民の皆さまや、ドンキーワールドに関わりのある事業所の方々からも喜ばれ、その参加者の笑顔から、私たちは本当に大きな励ましと活動の源をいただきました。参加して下さったすべての皆さまに重ねて御礼申し上げます。

ふたつ目の事業は、平成28年の開所に向けて木古里作業所の増築工事です。11月末現在で工事も終わり、12月22日に建築確認検査を受けます。その後、内部備品を整備し、1月中旬には長崎市の方に「就労継続支援B型事業所」としての指定を受けるために申請します。

## 2016年(平成28年)

4月1日付で、木古里作業所(長崎市平間町)が就労継続支援B型事業所として開所予定です。休憩所も増築(↓写真)され、ドンキーワールドの従たる作業所からの独立になりますが、運営主体の法人は、今までと同じNPO法人マンボウの会です。



▲木古里作業所外観

## 2017年(平成29年)~2021年(平成31年)

### ・グループホームの設置

ドンキーワールドの仲間やその家族の皆様から要望が上がっていたグループホームの設置は、2017年(平成29年度)に諫早地区に設置する予定です。さらに、2018年(平成30年度)には長崎地区に、設置する計画をたてております。もちろん、当法人で重視してきました一般アパートでの一人暮らしの支援につきましては、きめの細やかな支援を継続して、地域で生きる“ふつうの暮らし”を実現していきます。

### ・木古里作業所の出張所および従たる作業所設置

2016年に就労継続支援B型のサービスを始めた木古里作業所においては、まず、就労活動を充実させるための出張所を2017年に設置し、2018年には従たる作業所を設置して作業項目を増やし、木古里を利用している仲間たちの工賃アップを図っていく計画をたてています。

### ・作業内容の見直しと高齢化対策

2020年と2021年には、地域のニーズおよび利用者の高齢化による作業内容の見直し等を検討しながら、NPO法人マンボウの会の目的である「障がい者が地域でふつうに暮らししていく」ことの実現をめざして活動していきます。

今後とも、皆さま方の建設的なご意見やご感想をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

# 佐世保一泊研修旅行 9月27日～28日

## バスは楽し、我が故郷西海町。そして西海橋へ

青空のもと、待ちに待った研修旅行。総勢40人。竹の下バス停におもいおもいの服装でバスに乗り込む。みんなは笑顔笑顔。まずはバスに乗り西海橋へ出発。西海橋のある西海市西海町は私の生まれ故郷。思わず懐かしく涙が出そうになった。

## 有田ポーセリンパークでベニユチア赤に会う

昼食を取った後、バスは一路佐賀県の有田へ向かう。有田ポーセリンパークに到着しバスを降りた眼前には、西洋の城みたいな建物がそびえ立つ。私は城みたいなところの2階に入り、目に入ったのがコーヒーカップ。そのコーヒーカップが私の求めていたベニユチア赤色だったので、売っていたら買ったかったが残念。ポーセリンパーク市場への途中、庄子さんとロンロンにばったり出会い三人で長イスに座った。

## ホテルローライでカニのバイキング

そして、ふたたびバスは楽しく、みんなを乗せホテルローライへ。グループごとに部屋へと分かかれ、夕食18時には夕食が始まった。バイキング料理やビールを飲む仲間たち。「おいしい」「うまい」という声々が、あちらこちらから聞こえた。森さんがテーブルに入って来て、カニを器用にハサミでチョッキンチョッキン。私もカニをいただ

く。木古里の藤下さんも、感謝の心でジョッキビールを飲む。食べ終り部屋に戻り、おもいおもいに過ごす。明日は「海きららだ。」と考えながら眠る…。

## 『海きらら』イルカの能力にびっくり!

朝がきた。バスにみんなと一緒に乗り込む。バスは走り、海きらら水族館へ。私は水族館で、いろいろな魚の水槽をどうやって作ったのだろうかあと不思議に感じた。見学していると、青い海の中にまるで私もいるように感じた。歩いて回っていると、上野さんと北川さんと土居さんに出会う。三人は体験で真珠貝の真珠玉を取り出し、作品を作り上げていた。次はイルカのショー。まず最初に飼育係の方から「イルカの能力はすごいんですよ。」と説明があった。2頭のイルカはジャンプし泳ぐ。またもやジャンプ!多勢の観客が拍手、拍手!!

## また来年行きましょう

その後バスに乗り諫早へ。全員無事に帰ってきたことに感謝。楽しかった研修旅行に感謝。感謝で一杯です。

ひらこば あきら  
平古場 晃

イルカショーも前回より良くなっていて、感激しました。平田さんにはバイキングでカニの身をほぐしてもらったので、たくさん食べることができました。職員の方々によくしてもらいありがとうございました。  
才木 真由美

すべてにおいて楽しかったです。  
宮浦 満

海きららは6年ぶりでした。  
木下 正

海きららでイルカショーを見たのがすごかったです。  
田中 恵

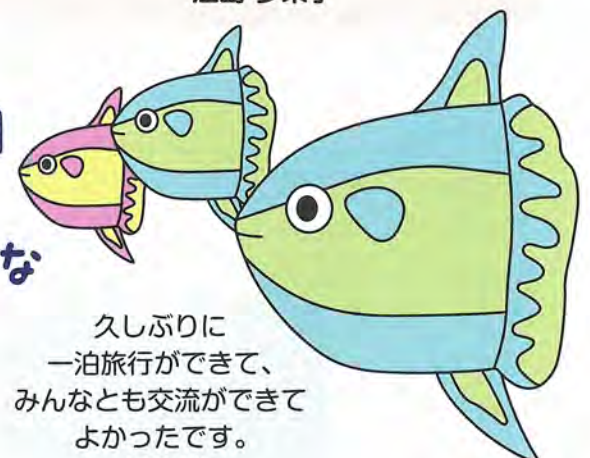
海きららで食べたチーズハンバーガーが美味しかったです。  
竹村 孝

初めての旅行に参加しました。とても楽しかったです。  
渡邊 久光

## なかまとの大切な時間 仲間とのすてきなきずな

2次会も楽しかったし、イルカショーも楽しかったです。  
石本 香織

旅行はバイキングが美味しく、カニやいろいろなものをたくさん食べることができました。海きららではクラゲとかが神秘的でとてもよかったです。  
江島 多栄子



久しぶりに一泊旅行ができて、みんなとも交流ができてよかったです。  
大賀 誠





### 一泊研修旅行コース

西海橋→有田ポーセリンパーク  
 →海きらら水族館  
 宿泊場所：ホテルローレイ

海きららのイルカショーは初めてでした。水しぶきを浴びることなく、大迫力で観ることができました。今度は家族を連れていきたいと思いました。  
**平田 いづみ**

イルカショーが楽しかったです。  
**田中 克将**

10年ぶりに研修旅行で一泊することができました。  
**福地 常保**

旅行は楽しかったです。  
**池辺 伸一**

旅行ではカラオケと温泉が楽しかったです。  
**花房 静子**

一日目のお昼ご飯のあと西海橋に登り、それがどこまで続いているのか気になりました。先まで行っている人に聞いたけど気になりました。  
**本多 麻奈美**

ぎりぎりになって追加したイルカショーですが、みんなに楽しんでもらえてよかったです。研修旅行は大きな事故なく終わり、幹事としてよかったです。  
**川嶋 哲郎**

すごく楽しかったです。  
**宮田 実雄**

ホテルのバイキングが美味しかったです。  
**井上 清香**

旅行は楽しかったです。来年も行きます。  
**杉澤 辰彦**

旅行は初めてだったけれど非常に楽しかったところと、引いてしまったところがありました。  
**片山 沙紀**

旅行は楽しかったです。イルカのショーは素晴らしかったです。  
**松尾 修**

研修旅行では車椅子に乗せてもらい、皆さんにいろいろ助けてもらいました。日本人って優しいんだなと思いました。  
**富岡 一二**

イルカのショーがおもしろかったです。2回目です。また行きたいです。  
**廣畑 優喜**

旅行ではいろいろなところに行けました。飲み会では楽しい時間を過ごすことができました。  
**上野 千華**

初めて一泊旅行に参加しました。カラオケにも参加することができました。おすましの皆さんがピンクレディーやいろいろな人になり、とても楽しかったです。  
**横田 幸子**

# ドンキーワールドの思い出

## 出発は小さなパン屋さん



「どんなに障害が重くとも、街の中で働く場所がほしい！」と、アーケードの中で小さなパン屋さんとして、数名のメンバーで、ドンキーワールドは出発しました。現在のような37名のなかまたちと、17名の職員、総勢54名の大家族になるとは、想像だにしないことでした。当時の設立メンバーの中で、現在まで先頭に立ってドンキーワールドをひっぱってきたのは、大賀誠(写真↑)さんです。

同じ障がい者の仲間たちが、福祉のすすんでいる東京などに行ってしまった中で、彼は地道に諫早の地で、ドンキーワールド(当時は無認可の小規模作業所)を中心に、障がい者が地域の中で働き、暮らす場をつくるために尽力してきました。

## なかまを育てたマンボウ通信

いつも地域の方々から、いろいろな支援をしてもらっているけど、自分たちで何かお返しができないかと話しあい、作業所通信の発行することになりました。お世話になったお礼と、ドンキーワールドや障がい者のことを知ってもらうために、自分たちの言葉で、自分たちのしたことや考えを書く、手作り作業所通信です。創刊号はA4の1ページですが1か月以上かかりました。当時の通信は、パンの販売宣伝を兼ねて「買って頂戴」と名付けていましたが、43号から「マンボウ通信」に変わり今回50号です。



## 新しい仲間(木古里)



9月17日からお世話になっています。やりがいのある仕事なのでがんばります。みなさんよろしくお願ひします。

なかた つかさ  
中田 津香沙



木古里に来て6ヶ月になります。がんばって仕事をしたいと思います。

わたなべ ひさみつ  
渡邊 久光

←お正月用アレンジ花の準備作業中

10月から木古里の新しい仲間になった田中 誠さんも木古里の仕事になれてきました。

## 目力で話すロンロン



おけまして  
おめでとう  
ございます



ワンワン  
ワンワン



2016

ワンだけのマコ

今年は申年。見ざる、聞かざる、言わざると言うけど私ことロンロンとマコにとっては見て、聞いて、吠えることが仕事だワン。今年もドンキーの仲間たちといろんなことを見て聞いて話してドンキーを盛り上げていこうと思う。これがロンロンとマコの今年の豊富だワン!キャン!

# あけましておめでとうございます



旧年中は格別なお引き立てを賜り  
パン販売部一同厚く御礼申し上げます  
本年も何とぞご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます  
平成28年 元旦

〒854-0011  
長崎県諫早市八天町6-17 TEL:0957-22-9569  
パン販売部一同



# あけまして おめでとうございます

旧年中は格別のお引立てを賜り  
厚く御礼申し上げます  
本年もご愛顧の程お願い申し上げます  
平成二十八年 元旦



本年も格安で美味しいランチと  
コーヒーとスタッフの笑顔をご提供します！  
ぜひ足をお運びくださいね♪



〒854-0013  
長崎県諫早市栄町3番22号  
栄町ビル1F(アエル栄町アーケード)  
TEL:0957-23-2461  
タックー同



# あけましておめでとうございます

昨年中は格別のお引立てを賜り  
誠にありがとうございます  
本年もご愛顧の程お願い申し上げます  
平成28年 元旦



★フククウッキウキ★

昨年より新しい仲間が加わり  
商品作り・教室活動とますます  
はりきっています。  
美味しいコーヒー♥とびきりの笑顔も  
あふれているアンテナショップ・タック。  
スタッフ一同、皆様のご来店を心より  
お待ちしております。

〒854-0013  
長崎県諫早市栄町3番22号  
栄町ビル1F(アエル栄町アーケード)  
TEL:0957-47-5605  
アンテナショップ・タックー同



# あけまして おめでとうございます

旧年中は名刺・のぼり・パンフレット・  
ポスター・カレンダー・DVD 焼付け等、  
沢山のご注文を頂きまして  
誠にありがとうございました  
本年もより一層のご愛顧のほど  
よろしくお願い申し上げます  
平成28年 元旦

〒854-0013  
長崎県諫早市栄町3番22号栄町ビル1F  
(アエル栄町アーケード) TEL:0957-47-5605  
印刷部一同

## 2016 ギャラリー開催予定

- 1月 『癒しの地蔵絵』  
江里口 美也子
- 2月 『木のクラフト』  
3月 村岡 義明 (村岡工房)
- 4月 『ゆうゆう工房展』  
ゆうゆう工房
- 5月 『朝長直哉らくがき展』  
かたつむりの家
- 6月 『織と木工品』  
原口 静香
- 7月 『パステルアート展』  
土居 紀美子 (ドンキーワールド)
- 8月 『第3回ぱれっと文化祭』  
ぱれっと

# 迎春



昨年は大変お世話になりました  
本年もよろしくお話しします  
平成二十八年 元旦

就労継続支援B型事業所 NPO法人 マンボウの会 **ドンキーワールド 木古里** お問い合わせ 095-838-8738

## 募集

### 私たちと一緒に働きませんか?

平成28年4月より、木古里作業所(長崎市平間町)が就労継続支援B型事業所(定員20名)になります。それに伴い働くなかまたちを募集しています。私たちは自然の中で庭づくりの手伝いや木工、陶芸、革作品づくりなどに取り組んでいます。一度見学にきてみませんか。



木古里作業所 095-838-8738  
担当 山本

## 編集後記

- ▶私も3年目に入ります。ドンキーワールドがますます発展するように、皆さんと一緒にがんばっていきます。 岩永 寛一
- ▶去年はドンキーワールド20周年を皆様のおかげで迎えることができました。20年の中にはいろんなことあり、長くて短い年月でした。今年から新たな思いで30周年に向けてファイトでがんばっていきます。 大賀 誠
- ▶2016年は自分自身いろいろなことにチャレンジして、昨年よりも良い一年だったと胸を張って言えるようにがんばりたいです。 森 大輔
- ▶2015年はいろいろな仕事をさせていただき忙しかったですが、体調も比較的良くなった素晴らしい1年となりました。2016年も印刷の仕事の経験値をどんどん増やして、実りある1年にしたいと思います。 前田 蘭子
- ▶みんなが目標をもって歩めるように、これからも背中を押していきたい。「Onlyone」で進もう。 藤田 和世志
- ▶節目となるマンボウ通信50号はページ数も多く盛りだくさんになりました。これからも多くの人たちに読んでいただけるような通信を発行していきます。 山根 順子

発行責任者 NPO 法人マンボウの会 庄子 裕子  
紙面編集 ドンキーワールド 印刷部 山根 順子